



世界に希望を生み出そう

第2548号

週報

11月1日.2023

高知東ロータリークラブ

本日 11月1日(水)12:30 ザクラウンパレス新阪急高知
ゲストスピーチ

「初めての地方勤務地 高知で思ったこと ~当地経済の現状と今後の展望~」

日本銀行高知支店 支店長 藤原 文也 氏
高知RC会員

次週 11月8日(水)12:30 ザクラウンパレス新阪急高知
ゲストスピーチ

「こうち被害者支援センターの活動と寄付等について」

こうち被害者支援センター 岡内 紀雄 氏
高知西RC名誉会員

第2594回 例会報告／令和5年10月18日 天候 晴 ガバナー公式訪問例会

◇ロータリーソング

「歓迎の歌」

◇来訪ロータリアン及びお客様

国際ロータリー第2670地区ガバナー

吉岡 宏美 氏 (徳島RC)

高知第I分区ガバナー補佐

中平真理子 氏 (高知東RC)

地区代表幹事

前田 康人 氏 (徳島RC)

随行者 信岡 保久 氏 (徳島RC)

◇会長挨拶



皆さん、こんにちは。やっと過ごしやすい季節になりました。コスモスの花がピンクの絨毯を敷き詰めたようにきれいに咲いています。本日は吉岡ガバナーの公式訪問です。ようこそいらっしゃいました。また、中平ガバナー補佐、随行の前田代表幹事、信岡様を歓迎いたします。

吉岡ガバナーにおかれましては、地区内外の行事、そして地区全てのクラブを訪問されます。ご苦勞様でございます。先ほどの懇談会では、当クラブは上等と褒めていただきありがとうございます。

ロータリーの友の7月号に吉岡ガバナーの横顔が掲載されていて、驚きました。吉岡ガバナーは、1952年11月3日生まれ、私も1952年12月7日生まれで、年齢が同じ seventy、吉岡ガバナーのよしは土に口で、私のよしも

土に口で、少しだけ名前にはこだわっていますが、ガバナーはいかがでしょうか。また、ガバナーは奉仕活動で里山を守る活動をされています。私も公園の整備を地域の人たちと行っています。ガバナーといくつか共通点があり、勝手にフェロシップだと思込んでいます。失礼いたします。

当クラブもガバナー選出クラブであり、1993年から1994年に田村さん、2017年から2018年の6年前に柳澤さんがガバナーを歴任しています。クラブでのガバナー事務所の運営が大変だったことが、未だに鮮明に残っています。いい経験をさせていただいたと思っています。次は25年先にガバナー選出がくると思いますが、そのとき私は…だと思っています。

さて、新しい会員がいますので、ガバナーの役割について、失礼ですがお話させていただきます。地区ガバナーは、ロータリーのリーダーシップ行動において重要な存在で、ガバナー補佐や地区委員からなるチームと連携し、クラブを支援、強化、激励する役割を担っています。また、研修や地区大会などの計画も仕事です。また、本日のガバナー公式訪問の目的はガバナー自身が地区内の各クラブを訪問するもので、ロータリーの重要な問題に関心をもたせる。また、弱体クラブ、あるいは問題のあるクラブに意欲を掻き立たせるための訪問です。皆さん、ご理解をお願いします。

吉岡ガバナーには、後ほどR I会長のテーマ、そして地区テーマの取り組み、年次計画のお話をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

◇吉岡ガバナーと
バナーの交換を
行いました。



◇ロータリー財団委員会より



財団の次年度プロジェクトのアンケートにご協力いただきありがとうございます。参考にさせていただきます。来週の水曜日、高知市保健所において贈呈式及び所長さんに卓話をさせていただきます。出席をよろしくお願いいたします。

◇ロータリー情報委員会より



11月8日(水)18時半から高知大神宮にて、勉強会を開催します。既に14名が登録していますが、できるだけ入会間もない会員の登録をお願いします。

◇幹事報告



- 10月15日の日本経済新聞に、世界ポリオデーのロータリー広告が掲載されました。ホワイトボードに貼っています。
- 25日の午前中、保健所にて贈呈式、例会終了後は役員会を行います。
- 本日例会終了後、記念写真の撮影を行います。

◇ガバナーアドレス

第2670地区ガバナー 吉岡 宏美氏 (徳島RC)



皆さん、こんにちは。本年度、第2670地区でガバナーを務めます吉岡です。よろしくお願いいたします。今日は、素晴らしい会場、素晴らしい皆さん方にお会いできたことを心から感謝とお礼を申し上げたいと思います。

貴重な例会の時間をいただきますけれども、先ほどの会長幹事の中で、いろいろ質疑をさせていただいたわけなんですけれども、私がかか申し上げることはどこにも残ってないような気がしています。当クラブにおいては、様々な事業を積極的に実行され、そして新しい取り組みといったものにもチャレンジをいただいています。したがって、私がチャレンジを申し上げていることを全て、もうご理解をいただき、そして実行していただいていると

いうことになりますので、この上に私がかかか申し上げることがあるのかということ、ないような気がします。

少しだけ、会員増強も含めてお話をさせていただきたいと思いますが、先ほどは会長さんから、何か親戚のようなお話もいただきました。大変恐縮しております。私は、徳島県三好郡池田町という、高知県から徳島県に入ったところの町の、ちょっと山間部の中で生まれました。祖父は町議会議員をしていて村長をしましたけれども、父は学校の先生ということもあって、さぞや一生懸命勉強しろと言われてたろうと、皆さん思うかもしれませんが、私が学校から帰ってきて、一番に祖父に言われるのは「畑へ行け、早く着替えて畑

へ行って仕事をしろ」と。勉強しろとは親父も誰も言いませんでした。

田舎の子どもたちというのは、男ばかりの5人兄弟でしたけども、全て子どもたちは労働力なんです。したがって、勉強よりもっと優先するものが仕事をする事なので、毎日毎日畑へ出て、日が暮れるまで畑の仕事をしながら。でも、少し早めに帰って、ばあちゃんと一緒に皆さんの食事を作る、そういった仕事をしてたのが子どもの時代でした、そんな素晴らしい家系に生まれたわけではございませんので。

でも、やっと今ごろになって、山で生まれてよかったなということがあります。私が生まれたとき、村には120軒ほどの家があって、田舎の農家の町ということですけど、林業をしながら農業に取り組んでいた。でも、道路がありませんでした。村中、探しても道路がありませんでした。したがって、小学校も歩いて20分ぐらいの通学。そして中学校は片道2時間ほど、往復4時間歩いて通いました。そして、名門の池田高校、野球の名門、今は名門でないかも分かりませんが、池田高校に通うときも山の上から下りて行って、吉野川の川をかんどり船を漕いで渡って学校まで行く。行くまでは1時間40分ぐらいでいいんですけど、帰りは2時間を超えてかかります。

したがって、毎日毎日4時間ほど学校に通うのにかかった。おかげで身体は鍛えられたと思います。通学で鍛えられ、家に帰ると畑で鍛えられ、その上、兄が2人おりましたので、兄の下で何でもいうことを聞いて仕事をするという時代でした。そのおかげで、私は徳島大正銀行という銀行に入りましたが、今年で48年目を迎えます。48年間、病気で銀行を休んだことは1日もありません。48年皆勤で仕事をしています。

これはやはり、この山の上で生まれて毎日毎日4時間歩かされて、帰ってくると畑に出て行って、仕事をしろと言われた、この時代のいろんな蓄えといったものが、今、今日の僕の財産だということをやがかなか感謝をするところまでは、まだいきませんが、あの時代があって、今私があるんだなというふうには思っております。

そういうことで、大した家ではありませんので、親戚でなくても大丈夫です。よろしくお願ひします。

さて、今年の国際大会はメルボルンで行われました。私も家内と一緒に参加をし、そして日本からも大勢の皆さん方が参加し、朝食会をご一緒しました。そしてそれから本会議、いろんな委員会にも参加をし、夜はガバナーナイトと一緒に食事をして、そこに参加をしているメンバーとは、当然、2670地区のメンバーなので大体顔見知りの方、でも、一緒にそれ以降の活動をしているメンバーというのは、日本から来たメンバーなんだけど、全然地区の違ったメンバーの方が一緒に食事をして、そしていろんな行動をさせていただきました。

夜、非常に若いメンバーにお会いしました。彼はどう見ても20代かなと思いました。横で一緒に座って食事をする機会がありましたので聞きました。「あなたは本当にロータリアンですか」と。「いや、ロータリアンではないんですけども、もうロータリーの入会申込書を出して、今審査してもらっていて、認められると僕はロータリアンになります」とおっしゃいました。「何歳ですか」と言ったら「21歳を過ぎたかな」と言いました。「なぜ、ロータリーに、あなたがここにいるんですか。ロータリーの会員になるんですか」とお聞きすると「祖父がロータリアンでした」そして、「大学で勉強する、学校で勉強することはいくらでもできるかも分からない。でも、社会のことを勉強するには、やはり社会に出ていろんな勉強をしなければいけない。そのため、その基礎をロータリーで学べ」と祖父が言った。「社会の勉強をする一番いい場所がロータリーなんだ」と教えていただいたとお話をされました。「そして今、来年度からロータリアンとしていろんな活動に参加をしようと思っています」とお話をされました。

僕は国際大会に参加をしてガバナーの仕事として、役目としてこの大会に参加し、またいろんな方のセミナーに参加させていただき、日本のロータリーだけでなくRI全体のことを勉強させていただき、そういう機会に今日はしているんだ。あなたはロータリーに入って人間性を磨くと言ったけれども、じゃあ、

ロータリーに入って8年たつとガバナーになれる資格ができる。年数の資格だけですよと申しあげました。ただ、それ以外にもいろんなものをロータリーの中で活動し、ロータリーを学び、そして人と人とのつながりといったものをしっかり学び、人としての人格といったものも磨き、そして多くの皆さん方からも信頼される、そういうロータリアンにならないとガバナーにはなれません。

そういうことをお話しました。そうすると、ちょっとすぐには無理かなというふうに話が変わりまして、8年を過ぎたら大丈夫なんだけれど、できたら35歳、あと14年あるので、それだけあればガバナーを目指すことができるかも分からないという話をしました。そうすると「分かりました。僕は13年でガバナーになります」と、答えていただきました。

こういう方に会った方はおありになりますか？ 僕は初めてでした。21歳の方がロータリアンになり、そして国際大会に参加をし、なおかつ話の中ではあと13年で僕はガバナーになります。と宣言をしてくれる。日本人です。日本人にそういう方がいるということ、僕は発見をしたような気がしました。

今、会員増強を進める中で、いろんな活動をロータリーは継続しています。2年前に公共イメージ向上委員会といったものができました。今はDEI委員会ということになってますけども、これはロータリーの活動をロータリーだけの活動にするのではなくて、地域の皆さんとともに活動をする。ロータリーの皆さんが地域の皆さんをロータリーに招き、またロータリーが地域の皆さんの方に参加をして、いろんな事業を共同でやっていくことによって、ロータリーを理解していく。

同時に我々ロータリーが地域の皆さんのいろんな活動を理解してあげることができる。双方が理解をすることによって、ロータリーの活動を多くの皆さんが理解をしていただくし、我々が地域の状況といったものを、もっともっと理解をすることになる。いろんな地域に対して補助金を出したり、いろんな協力を金をお支払いして活動を支えているというロータリーもありますけども、地域の皆さんを深く知ることによって、いろいろ取り組みないといけない項目も、その中で見つかるんじ

ゃないかなと思います。

新しい取り組みをしようとすれば、地域を知らないで新しい取り組みというのはなかなかできない。地域の要望をしっかりと捉えて、それにお応えしていく。そういったことがロータリーとしても、これから必要になるんじゃないかなと思います。ロータリーの歯車を一つで回すのではなくて、地域の歯車を一緒にうまく噛み合わせて回していく。そういった地域づくりといったものをぜひ進めていただきたいなと思います。

そうすれば、ロータリーを理解し、ロータリアンになって私も一緒に頑張ろうという方が、その中に生まれてくるかも分かりません。でも、何もしないでいてはそれはできないと思います。ぜひ、地域との関係づくりに努力をいただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

この二つのことをお話しましたが、この間、私は今年のガバナーの方針の中に女性の比率を15%にしましょう。女性の会員の増強に全力で取り組みましょうと書いてます。そういう話を最初したことがありましたが怒られました。女性の会員を勧誘するんだけど、男は要らんのかと言われました。大変申し訳ないことです。それは男女差別をしていることになるんだと言われましたので、それからはこの言葉は使わないことにしました。

ロータリーは地域の名士、そして地域で活動をされている、活動を共有している人たちにロータリーに入っていただく。そういった取り組みを継続するとともに、先ほど申しあげました20歳代の方でもロータリーに入り、ガバナーを目指すと言っている方がいます。そして、地域の活動にも一生懸命参加していただいている皆さんがいるんです。そういった方に声を掛けましょう。そして、若い皆さん方にはロータリーに入会しようと言っても反応はないと思いますけども、ぜひ友達として、ロータリーに迎え入れる。そういう活動をお願いできたらと思います。一度遊びに来なよ、ロータリーに。若いメンバーと一緒に話をする機会といったものをつくろうよ。お声掛けをして、来ていただいて一緒に食事をして、ロータリーの若いメンバーと一緒に参加をし、意見交換をさせていただくよう

な機会をつくっていく。

こういうことが、会員を増強しましょうということではなくて、友達をつくりましょうという活動にもつながるはずだと思います。そして、ロータリーの多くのメンバーが友達をつくり、そういった友達がロータリーにいずれ参加をしようということにつながるのかも分かりません。ぜひ、皆さんとともに取り組んでいくことをお願いしたいと思います。

あと2点ほど、R Iから求められている項目についてもお話させていただきたいと思います。

1月6日から1週間、オランダで研修を受けました。研修の最後に言われました。あなたはクラブのメンバーであるけれども、今いる存在というのはR Iの会長の代理なんです。R I側の人間だということを忘れないように。くれぐれも地元に戻ってR Iはこんなことを言ってるけど、全然できてないとか言っちゃはいけませんと言われてますので、R Iの悪口は言わないというのは、僕の役割でございますので、いろいろ言いたいことは一杯あるんです。でも、控えながらということで、今日はその中でも、今年からR Iの中にDE Iといったものが追加されました。既に皆さんはご承知だと思います。そして、クラブにもDE Iの行動検証といったものが送られてきていると思います。

この内容は、ダイバシティ・多様性、エクイティ・公平性、そしてインクルージョンと言った言葉に合わせて、どういう活動をすればいいのか。また発言もこの三つのテーマに合わせて発言といったものをしてください。DE Iに反するような言葉遣いといったものは、少し気をつけて対応していくということにさせていただきたいということで、行動検証といったものが発注されています。

DE Iの歴史について見ていきたいと思いますが、既に企業経営者の皆さん、企業の経営の中において、DE Iといったものは非常に大きなテーマで多くの企業が取り組みをしています。企業経営の中でやられている方は、皆分かっていると思いますけども、その中でDE & Iといったものを一番最初に概念として求めたのが、いろんな関係する皆さん方の多様性といったものをしっかり認めて、

それを受け入れている。自分の考えとは違う、思っているものとは違うという人たちを、ぜひ積極的に迎え入れて、そうした方を、自分の考えが同じだったらやれることは一緒かも分からないけど、全然違う考えを持っている方だったら、もっと新しいことに取り組んでいただけるかも分からない。そういった人を生かしていくことが、このDE Iには求められていると理解していただきたいと思います。これがそもそもDE Iのスタートの考え方。

そして、一番最初にこのDE Iを取り入れたのが1964年アメリカで、アメリカというのは多国籍の人たちが、いろんな考えの違う人たちが、一つの国の国民を成しているということもあって、新公民権法が制定されました。全ての国民は平等であり、同じように権利を主張することができる。そして、みんなをまとめて、まとまりを持って国といったものをつくっていく。そういったものを求める、新公民権法が求めたのがこのDE & Iということになります。

そして、アメリカで1964年にスタートしたものが、日本では2000年以降、いろんな社会の中でDE Iの考え方が取り入れられてまいりました。そして今、企業の中でもロータリーの中でも今求められているのが、受け入れる側というのは当然なんだけど、受け入れられた側が受け入れられて、なおかつ自分がその場所で生かされているというふうに思いを共有できる。そういう活動がこれからもっともっと大事だと。受け入れて頑張るといいのはいいんだけど、逆に新しく入会してきたメンバーが受け入れられて、皆さんに大切にされて、そして生かされてる。素晴らしい、居心地のいい場所がロータリーだというふうに思っただけのような組織をつくらうということです。

そして、このDE IにBという文字が追加されています。DE I & B (ビロギング・帰属意識)、ロータリーに入会し、そしてロータリーの中でいろんな皆さんとお付き合いをし、それぞれの交流の中でロータリーの事業にも積極的に参加をしていただきます。そこで、うまくそれが実行できたという喜びをみんなで共有することができます。そして、ロータリーっていい場所だなと、いい団体だな

というのが、新しいメンバーにも共有して持っていていただくようになります。彼らは、ロータリーのこの場所が自分にとって非常に住みやすい、居心地のいい場所、ここでもっとも頑張っているような活動に参加しようと、これが帰属意識です。

そういったロータリーをつくっていく。多くの皆さん方がロータリーを楽しみ、ロータリーの中でいろんな取り組みを積極的に取り組み、評価され、多くの社会の皆さん方からありがたいという声を掛けられて、ここで仕事をしていることに本当の楽しさ、意義といったものを感じる。そういった組織をロータリーでつくっていくことが、今求められているんじゃないかなと。そういう取り組みを進めているロータリーが多く、今存在するというのをぜひ理解していただきたいと思います。

あともう1点、これは国際ロータリーの研修会のときに、少し議論したということで、今世界のロータリーの数は3万5,760、日本は2,258人の会長がいましたが、現在は2,250を切っています。先ほどの会長幹事会でもお願いしました。ロータリーはどういう活動をしているのかと、よく言われますが、ロータリーの活動といったものは、クラブの活動が全てなんです。ガバナーが何かしているかという何もしません。R Iの会長が何かしているかという、実際の行動として何か地区の活動に参加しているかという、そういうことはありません。日本全国、世界のそれぞれの地区で活躍し、活動しているのはクラブなんです。クラブの活動がなければ、ガバナーもR Iも何もしなかったということになります。

ぜひ、皆さん方の積極的なクラブに対しての参加、いろんな活動を新たにつくりあげ、そして取り組んでいく。その中にぜひ地域の皆さんと共有して取り組むというのを加えて、実行していただくことをお願いしたいと思います。

これが規定の審議事項で、先般、国連総会の会があって、SDGsの進捗状況についての議論がありまして、その中で、世界のSDGsの中で求めている項目が必ずしもスムーズに進んでいるところではない、特に日本に

においてはCO₂削減の取り組みといったものが、非常に計画からいうと遅れているという議論があって、じゃあ、SDGsというのは2015年に策定されて2030年までに17の目標、169項の目標設定をし、その達成に取り組んでいる状況なんだけど、かなり遅れている中で、ロータリーの取り組みをしているものとSDGsの関係というのは、どういう関係であるのかなというのを検証してみました。

私が勝手にその関係性をつなげたもので、間違いがあるかもしれませんが、SDGsの中にエネルギーというテーマがありますが、これがロータリーの中には言葉としては見当たらない。これは社会的な活動と国として活動をしているものの、少しの表現の違いというふうに思いますけども、ほぼ、でもロータリーとSDGs、国連が目指している2030年に向けて達成を目指している項目が、ほぼイコールでつながっている。したがって、ロータリーの活動を積極的に取り組んでいくということが、このSDGsの実現にもつながっているんだと。それを支援するようなロータリーの組織といったものが、ここで認められることが少しは理解できたように思います。

ぜひ、こういったものも時々と比較しながら、いろいろ検討いただくといったことをお願いできたらと思っています。

そして、地区大会が来年、徳島で開催されます。これまでの地区大会ではなくて、昔の地区大会に戻します。親睦が第一、交流が第一の、大懇親会がメインテーマの地区大会にします。議論することは、ルールとして必要なものはちゃんと議論し、決議もさせていただきますけども、メインは全員で楽しもう、エンジョイロータリーを目指して取り組みたいと思います。ぜひ、全ての地区の皆さん方は大型バスを借り切って、会場までビールを飲みながら来てください。そして、会場で地区大会を楽しんでいただき、最後は「手に手つないで」で皆さんと楽しく地区大会を終えるようにしたいと思います。そして、またバスに乗ってビールを飲んで帰ってください。そういった地区大会に戻したいと思っています。100%出席をどうぞよろしくお願いいたします。

今日はこのような貴重な時間をいただき、

拙い話をさせていただきましたことを、心から感謝と御礼を申し上げますとともに、当クラブがますます発展し、そして四国だけでなく、日本全国のロータリーのリーダーとなるようなクラブに発展されますことを、そして、

皆さま方のご健勝を心からご祈念申し上げまして、皆さん方への感謝と御礼のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございます。



.....

ガバナー・会長・幹事懇談会





- ・吉岡宏美ガバナー ニコニコへ。
- ・吉永光男 吉岡宏美ガバナー、前田地区代表幹事、信岡随行、歓迎いたします。ご苦労様です。
- ・中西克行 吉岡宏美ガバナー、中平ガバナー補佐、前田地区代表幹事、信岡随行、ようこそお越しくございました。ありがとうございます。
- ・佐野博三 ガバナーアドレスお礼。
- ・松本隆之 吉岡ガバナー、お越しいただきありがとうございます。併せて、私の誕生日祝いのお礼も申し上げます。
- ・早瀬源慶 長期休会お詫びと8月家内誕生日祝いのお礼を兼ねて。
- ・西村美香 結婚記念日のお祝いありがとうございます。無事、結婚12周年を迎えるこ

とができ、感謝です。

・市川哲司 入会祝いありがとうございます。いつの間にかロータリー活動は生活の一部になりました。

・猿田隆夫 有田さんのお世話で初めて台湾に行くことができました。迎賓館に出席できないのが残念でしたが、楽しい旅行でした。

・福岡満喜子 水曜会で市役所前花壇のお花の贈呈式の後、市長とともにお花の植え付けをしてきました。市役所を訪れる方々に喜んでいただいております。

・西森良文 過日の創立夜間例会にて初のSAA発表をさせていただきました。だいぶグダグダして申し訳ありませんでした。

・ザ クラウンパレス新阪急高知 いつもサロンイーストのご利用ありがとうございます。

◇遅刻 1件

◇早退 1件

■高知東RC当面の日程

11月3日(金・祝)

野外レクレーション実施予定

11月15日(水) 第4回クラブ協議会

(例会終了後)

11月22日(水) 18:30~ 東酔会開催予定

11月29日(水) 役員会

12月6日(水) ロータリー休日

12月13日(水) 五大奉仕中間発表・年次総会
定例理事会

12月20日(水) 忘年夜間例会
(ザ クラウンパレス)

役員会

12月27日(水) 休会 (年末年始の休み)

● ニコニコ箱 ●

	ニコニコ	チビニコ	合計
先週まで	550,112円	2,422円	552,534円
10月18日	33,150円	0円	33,150円
今期の累計	583,262円	2,422円	585,684円

● 出席率報告 ●

	総数	出席	欠席	マイク アップ	HC出席率	出席率
10月18日	56	43	4	5	76.79%	92.31%
10月4日	ロータリー休日					

- 会長／吉永光男 ●幹事／中西克行 ●雑誌会報委員／関 淑公・岡崎勇樹・広瀬雅彦
- 例会日／毎週水曜日12:30PM~1:30PM ●例会場／ザ クラウンパレス新阪急高知 (088)873-1111
- 事務所／高知放送南館8階 〒780-0870 高知市本町3-3-39 直通 (088)824-8660
- ホームページアドレス(PC・携帯共通) <http://www.kochi-east-rc.com>
- メールアドレス 事務局／hccr@coffee.ocn.ne.jp 広報 I T 委員会／info@kochi-east-rc.com